

2025年3月期 上半期決算補足資料



株式会社フーバーブレイン

2024年11月14日

連結業績推移及び連結業績予想（上方修正） **3**

2025年3月期上半期業績の概況 **5**

2025年3月期業績予想（上方修正）と要因 **12**

成長戦略 **16**

事業別ハイライト（Appendix） **20**

連結業績推移及び 連結業績予想（上方修正）

Consolidated Financial Results and Forecasts (upward revision)

連結業績推移及び連結業績予想（上方修正）

(百万円)	2023年3月期 上半期	2023年3月期 下半期	2024年3月期 上半期	2024年3月期 下半期	2025年3月期 上半期	2025年3月期 (予・旧)	2025年3月期 (予・新)
売上高	1,119	1,218	1,468	1,606	1,879	3,800 ~4,100	4,200 ~4,400
調整後営業利益	72	12	9	41	86	150 ~250	200 ~300
営業利益	62	△3	△4	27	35		
当期純利益	34	△7	△18	45	△8		

2025年3月期 上半期実績

- 売上高は、前年同期比410百万円（27.9%）増。半期ベースで10期連続して過去最高を更新。
- 調整後営業利益も半期ベースでの過去最高を更新。
- 営業利益は、M&Aによる株式取得費用やのれん等無形資産の償却費用を計上しつつ、前上半期及び下半期実績を超過。
- 当期純利益は、為替差損等の一時的要因の影響あり。

2025年3月期 通期予想

- 売上高予想レンジを、新たに42億円から44億円へと上方修正
- 調整後営業利益予想レンジを、新たに2億円から3億円へと上方修正
- 順調なSaaS売上の積増に加え、9月・10月で連結子会社化した2社の業績が下半期から加わる事により、下半期は上半期を大幅に上回る業績を見込む

2025年3月期上半期業績の概況

FY2025 1H Financial Results

2025年3月期上半期 売上高前年同期比較

(百万円)	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	増減額	増減率 (%)
セキュリティ製品	490	530	39	8.0
セキュリティ&ネットワークaaS製品	315	556	240	76.1
働き方改革製品 (SaaS型)	36	48	12	34.1
ITツール事業	843	1,134	291	34.6
ITサービス事業	625	744	118	18.9
売上高合計	1,468	1,879	410	27.9

- 売上高合計は、前年同期比410百万円（27.9%）増。
- セキュリティ&ネットワークaaS製品が前年同期比240百万円(76.1%)増の大幅成長を継続。
- 働き方改革製品（SaaS型）も前年同期比34%増と継続成長。
- ITサービスは、2024年2月に連結子会社化したCONVICTIONが業績寄与し、前年同期比118百万円（18.9%）増。

2025年3月期上半期 連結貸借対照表

資産	前期末	当上半期末	増減額
流動資産	2,584	2,916	331
現金及び預金	1,403	1,267	△136
前払費用	720	1,090	369
営業投資有価証券	30	142	112
その他	429	415	△14
固定資産	1,767	2,503	736
のれん	246	323	77
長期前払費用	1,181	1,566	384
その他	340	614	274
資産合計	4,352	5,419	1,067

総資産及び総負債増加の大部分は、
 役務提供前に決済をした売上代金及び
 仕入代金の会計上の取扱（前払費用及び前受金処理）
 に基づくものであり、
 セキュリティ&ネットワークaaS製品の受注が堅調に
 積みあがっていることを示している。

(百万円)

2025年3月期上半期 連結貸借対照表

負債・純資産	前期末	当上半期末	増減額
流動負債	1,320	1,720	399
前受金	929	1,322	393
その他	391	397	6
固定負債	1,656	2,305	648
長期前受金	1,517	1,848	330
その他	138	457	318
純資産	1,375	1,394	19
負債純資産合計	4,352	5,419	1,067

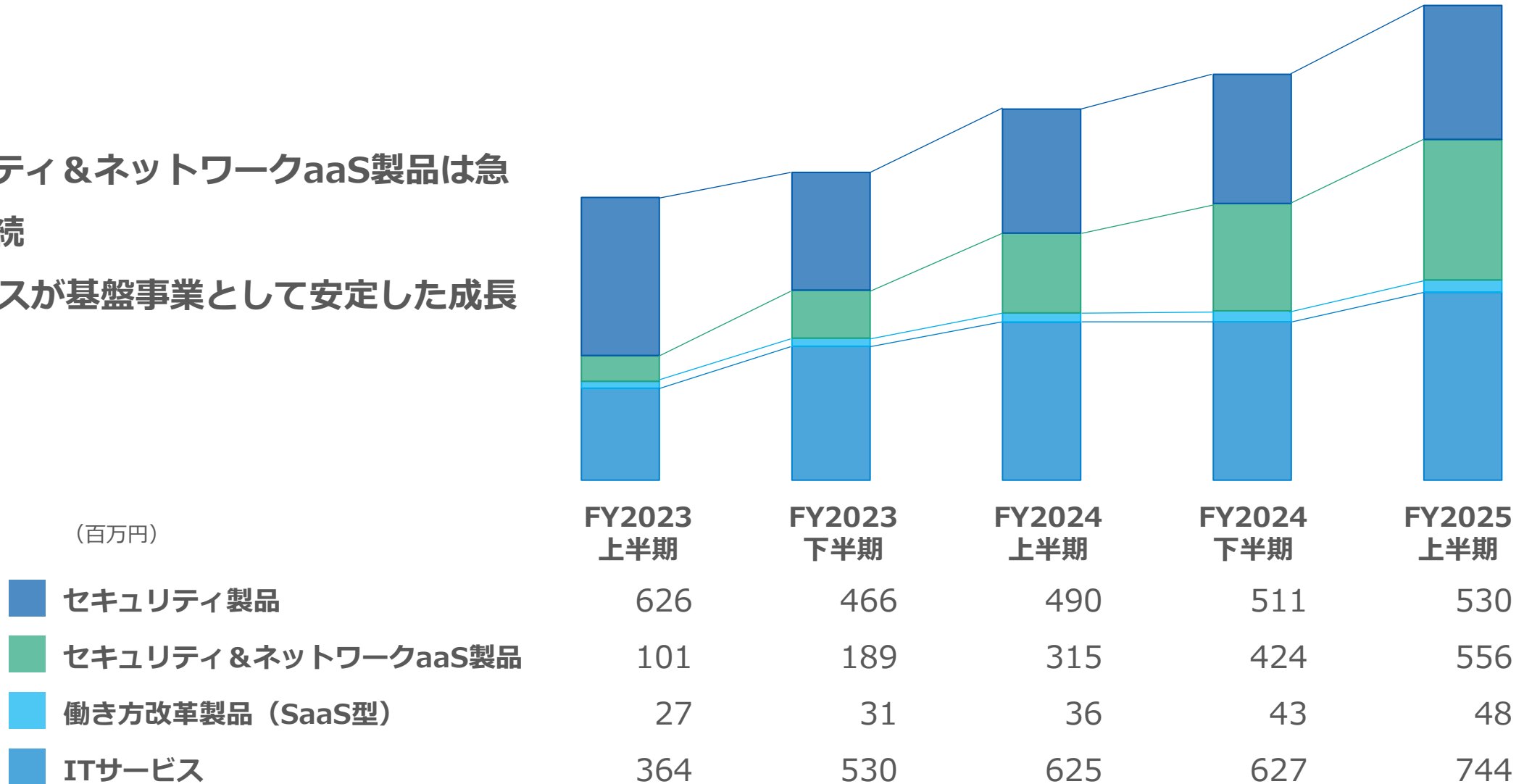
流動負債1,720百万円、固定負債2,305百万円のうち、それぞれ前受金が1,322百万円、長期前受金が1,848百万円と負債の大部分を占めている。

これらの前受金は主として、役務提供前に収受した売上代金であり、財務体質の健全性に懸念を及ぼす要弁済債務ではない。

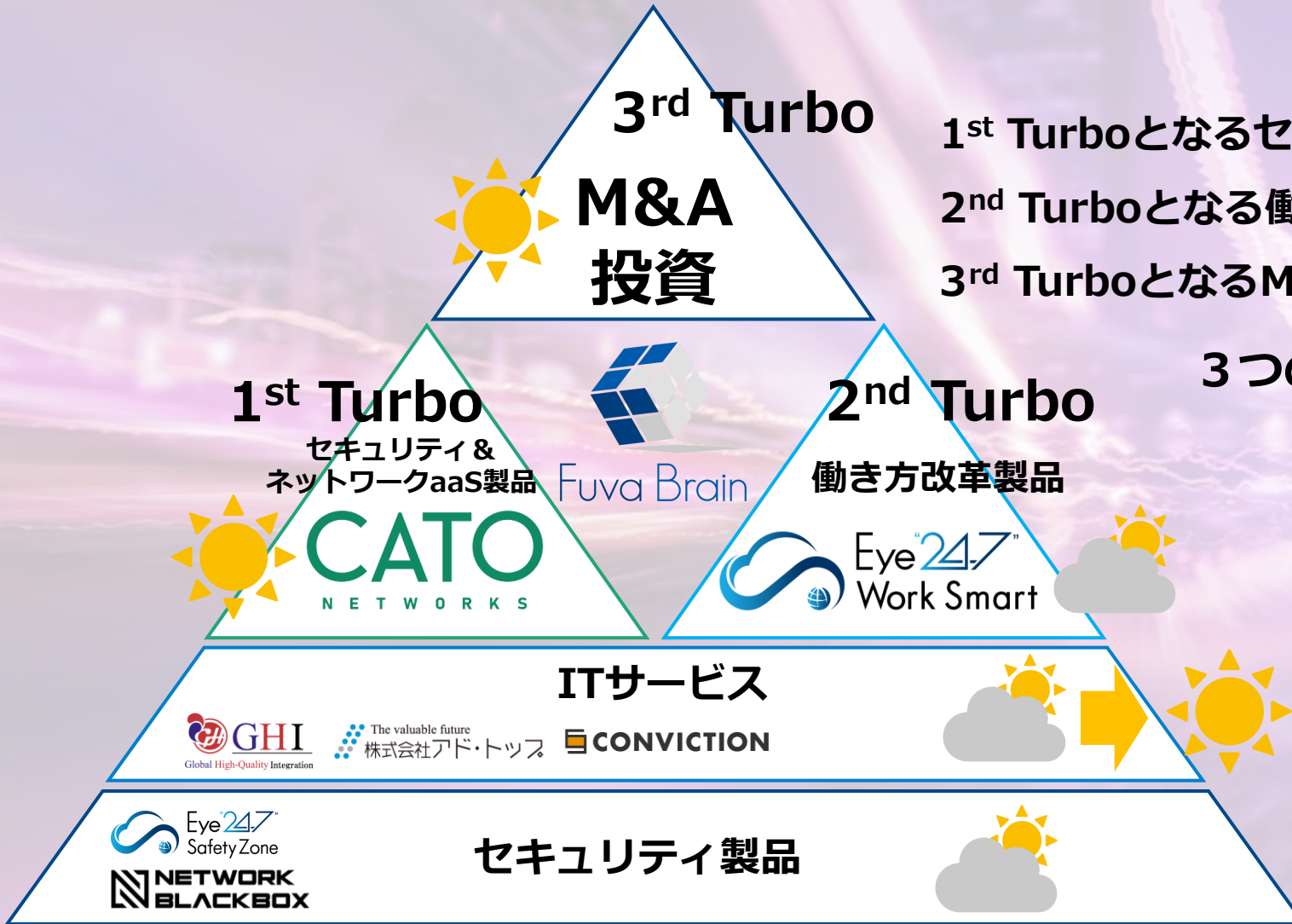
(百万円)

主要事業 売上高推移

- セキュリティ&ネットワークaaS製品は急成長を継続
- ITサービスが基盤事業として安定した成長



主要事業状況

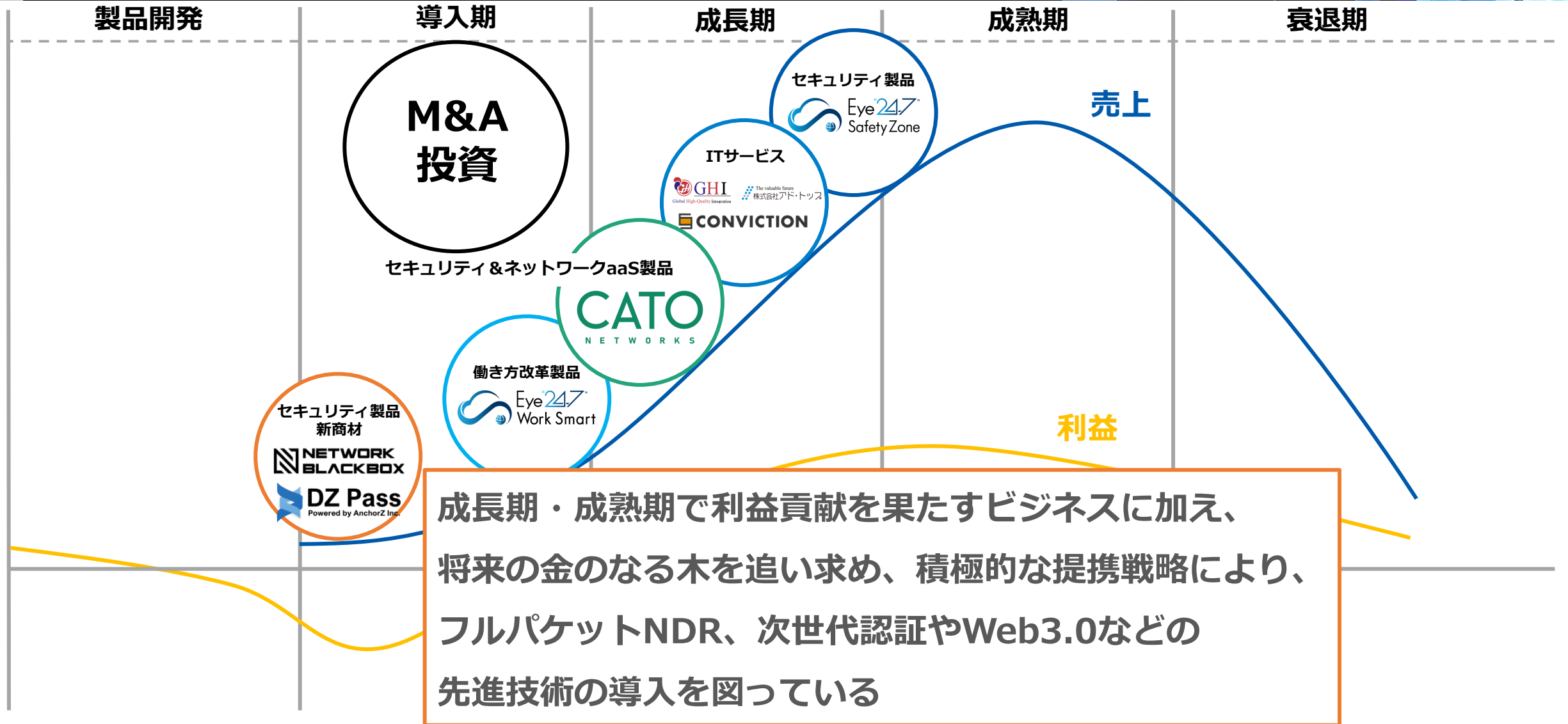


1st Turboとなるセキュリティ & ネットワークaaS製品が絶好調
2nd Turboとなる働き方改革製品も順調に売上を積み増し
3rd TurboとなるM&Aは、暦年で3社の子会社化を達成

3つのターボチャージャが成長を加速

当社のベースエンジンとしての働きを担うITサービス・セキュリティ製品の主力事業が安定

ライフサイクルで見る主要事業状況



2025年3月期 業績予想（上方修正）と要因

Forecasts for the FY2025 (upward revision) and factors

連結業績推移及び連結業績予想（上方修正）

(百万円)	2023年3月期 上半期	2023年3月期 下半期	2024年3月期 上半期	2024年3月期 下半期	2025年3月期 上半期	2025年3月期 (予・旧)	2025年3月期 (予・新)
売上高	1,119	1,218	1,468	1,606	1,879	3,800 ~4,100	4,200 ~4,400
調整後営業利益	72	12	9	41	86	150 ~250	200 ~300
営業利益	62	△3	△4	27	35		
当期純利益	34	△7	△18	45	△8		

下半期は上半期を大幅に上回る業績を見込む

2025年3月期 通期予想

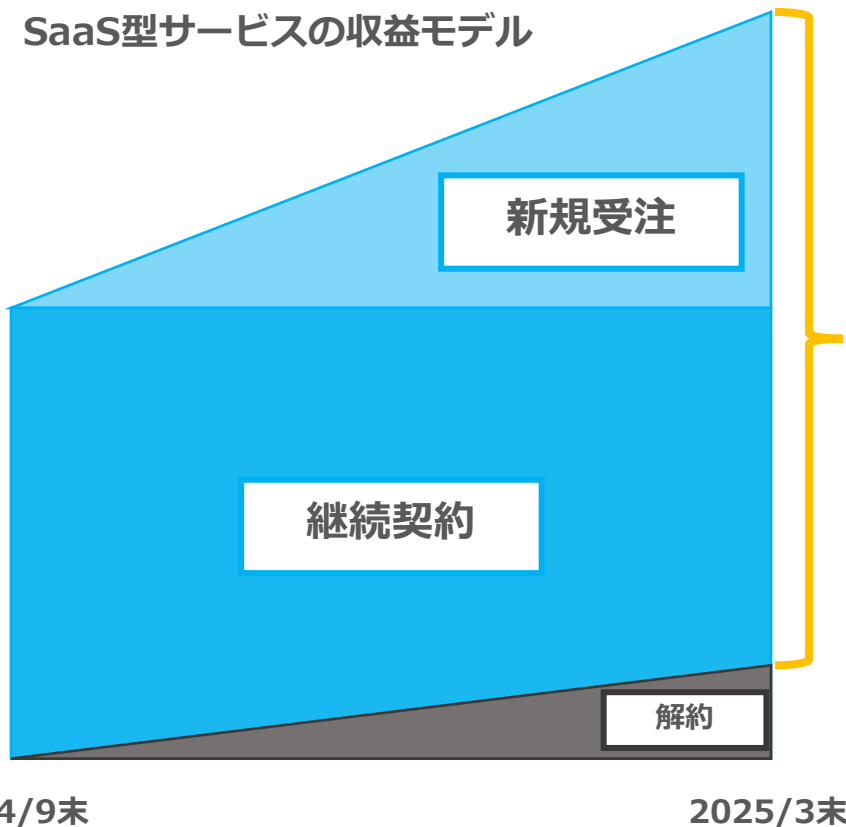
- 売上高予想レンジを、新たに42億円から44億円へと上方修正
- 調整後営業利益予想レンジを、新たに2億円から3億円へと上方修正

2025年3月期下半期成長要因 1

SaaS型サービスの安定した売上拡大

新規受注継続・低解約率で安定した売上拡大を見込む

SaaS型サービスの収益モデル



セキュリティ&ネットワークaaS製品

CATO
NETWORKS

下半期以降に
安定計上

働き方改革製品

Eye 24/7
Work Smart

売上計上未了の長期の受注済み契約に新規受注を積み上げ。

契約更改時の解約がほぼない実績。

当上半期まで受注した累計契約約40億円のうち、下半期以降の売上計上予定が約25億円、存在している。

SaaS製品として、自動継続による安定したベース売上の上に新規受注が重なる売上構造
カスタマーサクセスに注力し、案件の契約継続率上昇し、平均継続期間は約70か月間に。
新規の大型案件受注も増加。

2025年3月期下半期成長要因 2

2社の新たな子会社の業績貢献 特色あるIT人材ビジネス2社が下半期から業績貢献

人材育成・採用ノウハウの
株式会社ARPEGGIO

ARPEGGIO

決算期	2024年9月期
売上高	178
営業利益	48
経常利益	60
当期純利益	42

事業運営の自動化・フリーランス事業を手掛ける
イチアール株式会社



決算期	2024年2月期
売上高	501
営業利益	49
経常利益	56
当期純利益	36

(百万円)



成長戦略

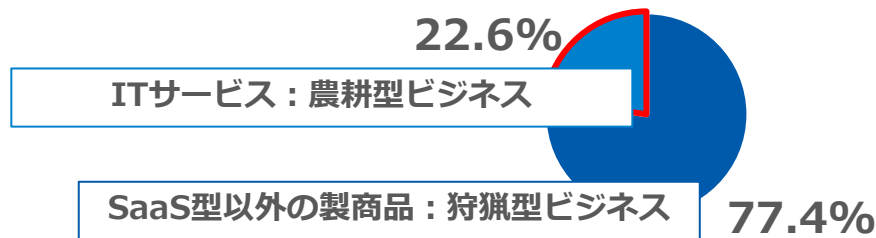
Growth Strategies

従来からの狩猟型に将来予測可能性の高い農耕型ビジネスを加え、 爆発力と安定を兼ね備えたビジネスモデルに

2020年3月期上半期（単体）では、売上高の約77%が每期新規獲得を要する狩猟型ビジネスが占めていた。
2025年3月期上半期（連結）では、安定的・将来予測可能性が高い農耕型ビジネスが約72%を占める。

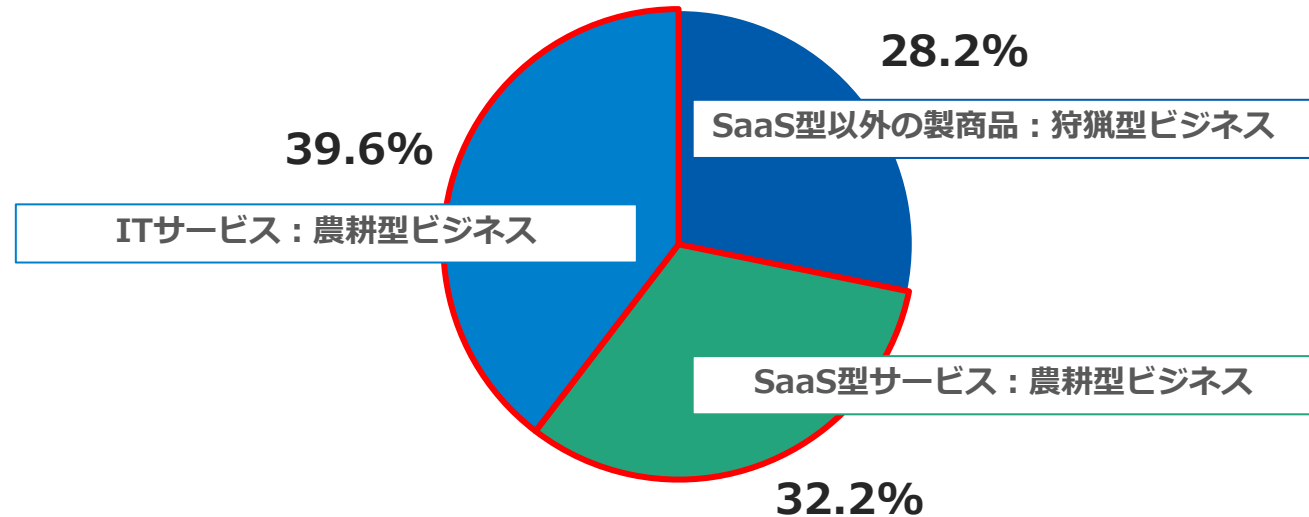
中長期視点での経営が可能となる内部環境が急速に実現されつつある

2020年3月期上半期（単体）
売上高 475百万円



2019年9月30日終値株価：1,019円

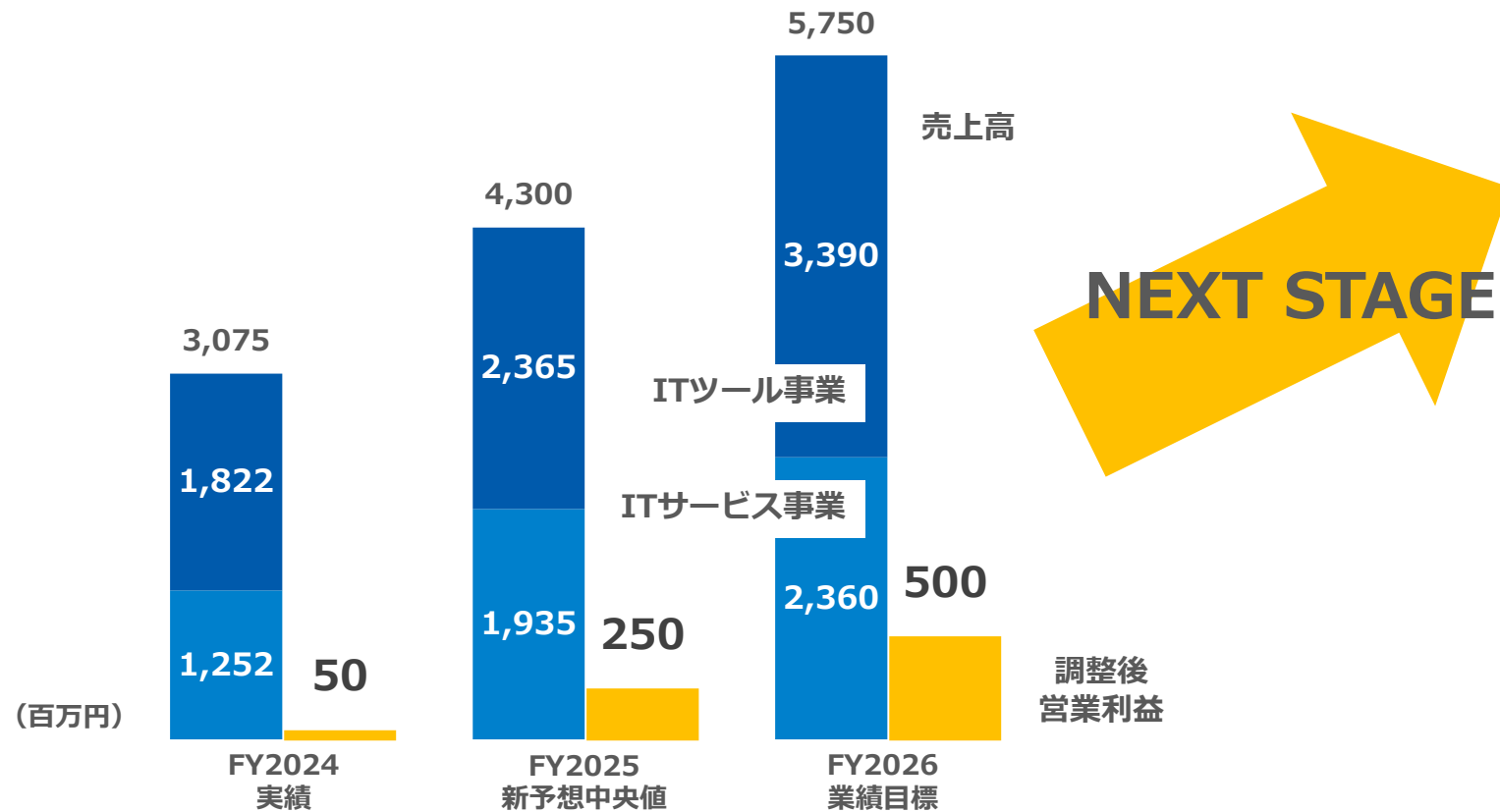
2025年3月期上半期（連結）
売上高 1,879百万円



2024年9月30日終値株価：687円

2026年3月期 調整後連結営業利益 5 億円 その先を見据える

業績目標である「2026年3月期 調整後連結営業利益 5 億円」の達成と
その先を見据える事業基盤の構築を加速



中長期的な成長のためのコアバリュー

事業

セキュリティソリューション
プラットフォーム

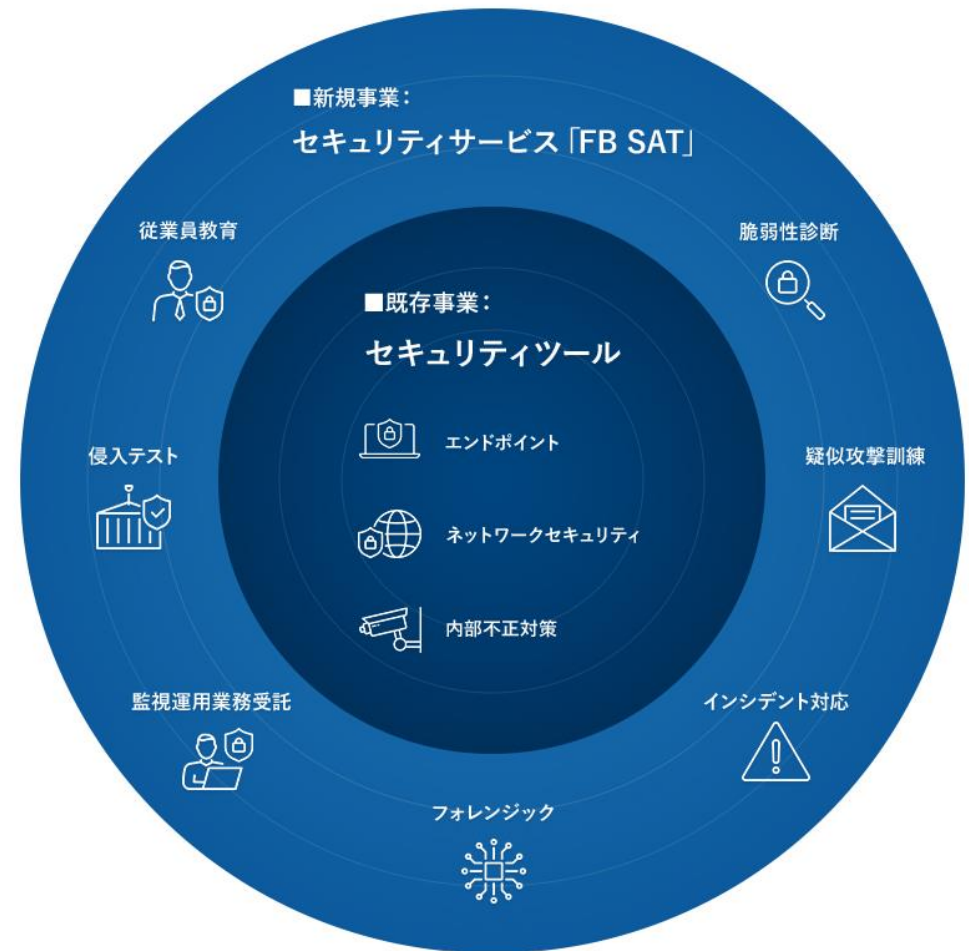
組織

ITエンジニア集団

実現手段

積極的なM&A・提携

セキュリティソリューション プラットフォーム



事業別ハイライト (Appendix)

Business highlights (Appendix)

セキュリティ & ネットワークaaS製品

上半期ハイライト



売上高が前年同期比76%増の5.5億円に成長。
案件も中堅企業への裾野広がりつつ、当上半期
は大型案件もあり受注9億円積み上げ。

下半期推進策

2025年3月期上半期まで受注した累計契約約
40億円のうち、2025年3月期下半期以降の
売上計上予定が約25億円、存在している。

今年から本格稼働を開始した導入・運用支援サ
ポートグループ会社により、エンジニア起点の
提案営業による案件数拡大に貢献。

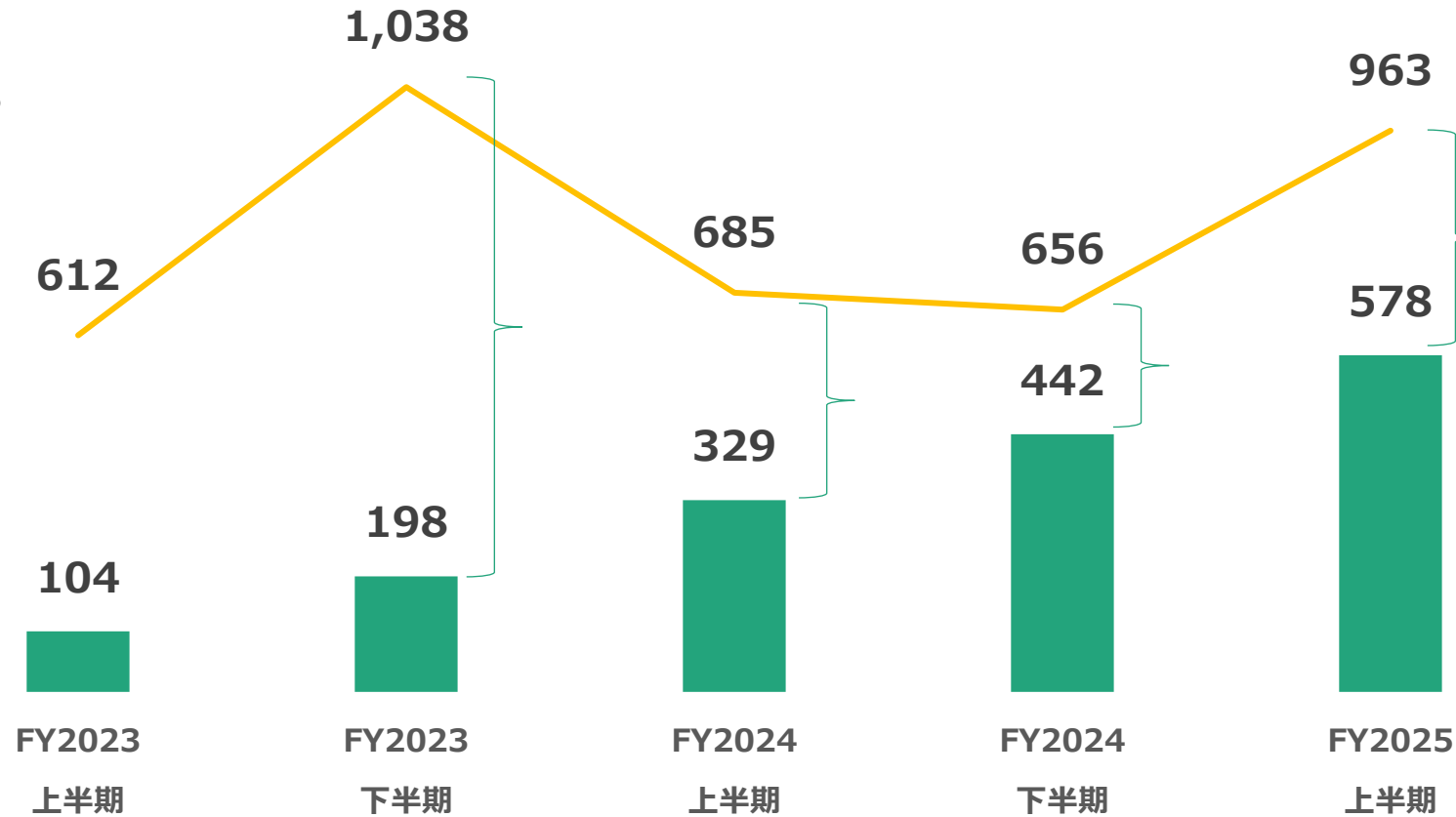
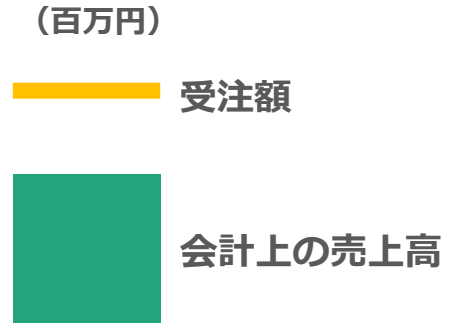


セキュリティ & ネットワークaaS製品

セキュリティ & ネットワークaaS製品「Cato SASE Cloud」の受注・売上高は堅調。
中堅・中小企業まで導入企業の裾野が拡大しつつ、当上半期には大型案件も受注。



※売上高には、ITサービス事業に割り振るサポート売上高も含めております。



受注額と売上高の差額が、下半期以降に売上計上予定

セキュリティ製品

上半期ハイライト



次世代エンドポイントセキュリティ製品

「Eye“247” Safety Zone 1.0」シリーズ
販売順調。



下半期推進策



韓国軍や政府機関への導入実績有する
NDRソリューションの国内総代理店として、
早期立ち上げに注力。
セキュリティ診断サービスは、地方自治体
での採用実績。

セキュリティ製品 NDR製品「Network Blackbox」



NDR(Network Detection and Response)は、米国や欧州などグローバル市場における成長率は2022年から2031年に向けて13.4%（出展：Business Research Insights）と成長が見込まれている。

「Network Blackbox」は、韓国軍や政府機関などの重要組織・施設をはじめ、グローバル市場においてメガバンク、大手企業等への導入実績を有します。ベンダーQuad Miners Co., Ltd.は、2020年～2023年に4年連続で、GartnerレポートにてNDRソリューションの代表ベンダーの1社として取り上げられ、2022年には「Forbes Asia 100 To Watch 2022」とアジア注目100社に選出されています。

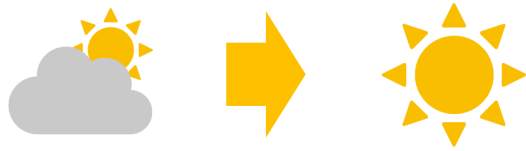
NDRソリューション製品「Network Blackbox」の韓国本社へ出資するとともに、日本法人を持分法適用関連会社化して、関係強化。

国内総代理店として、早期立ち上げに注力。

「Network Blackbox」を活用したセキュリティ診断サービスは地方自治体で採用実績。

ITサービス

上半期ハイライト



採用コンサルティングのアド・トップが黒字
体質確立。

2024年2月に子会社化したIT人材ビジネス
を展開するCONVICTIONが新たに業
績貢献。

下半期推進策

ARPEGGIO



IT人材育成と採用ノウハウのARPEGGIO、
事業運営の徹底した自動化・省力化とフリーラ
ンスIT人材事業のイチアールを新たに子会社
化。特色ある4社のIT人材企業がそれぞれの強
みをグループ共有することで、事業の成長を加
速。

インフラエンジニア				
システムエンジニア				
フリーランス				
	採用	教育	営業	運営

働き方改革製品（SaaS型）

上半期ハイライト



デジタルマーケティング、
インサイドセールス体制強化、
カスタマーサクセス活動により、
エンドユーザー企業直接販売は、
順調に導入企業・ユーザー数を積み上げ。
大型案件を複数受注。

下半期推進策

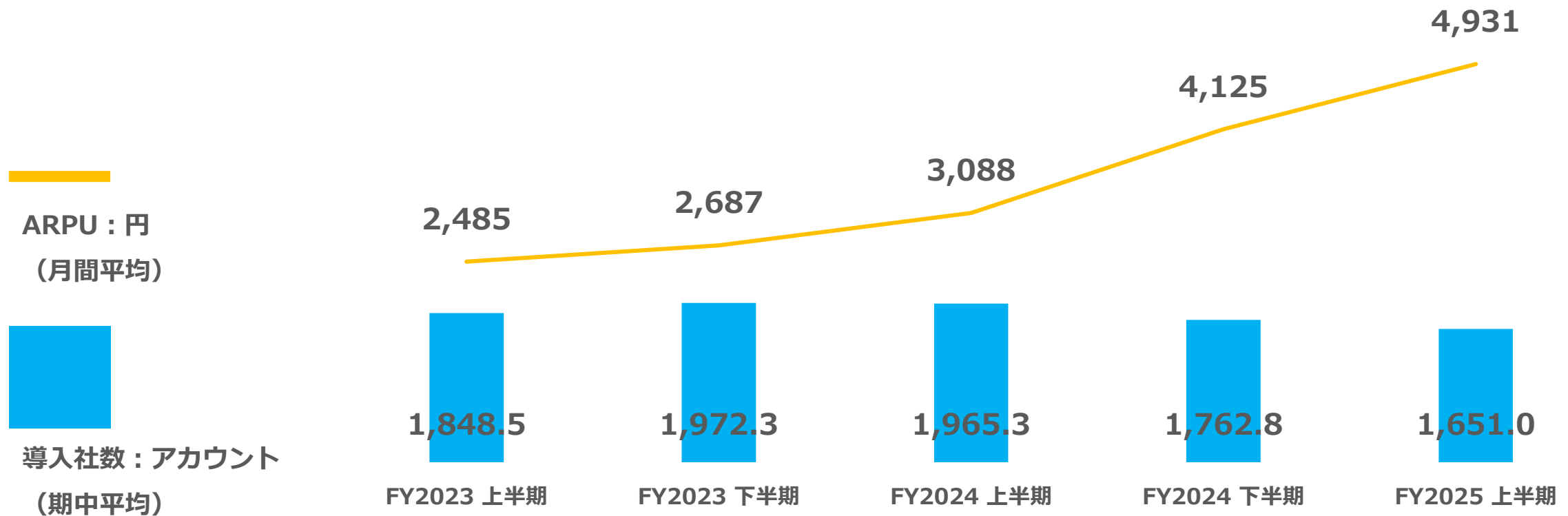


労務管理向け機能を追加し、問い合わせ増。

さらに、情報漏えい・内部不正対策など
「ヒトセキュリティ」をコンセプトとした
機能強化に開発注力。

働き方改革製品（SaaS型） KPI進捗

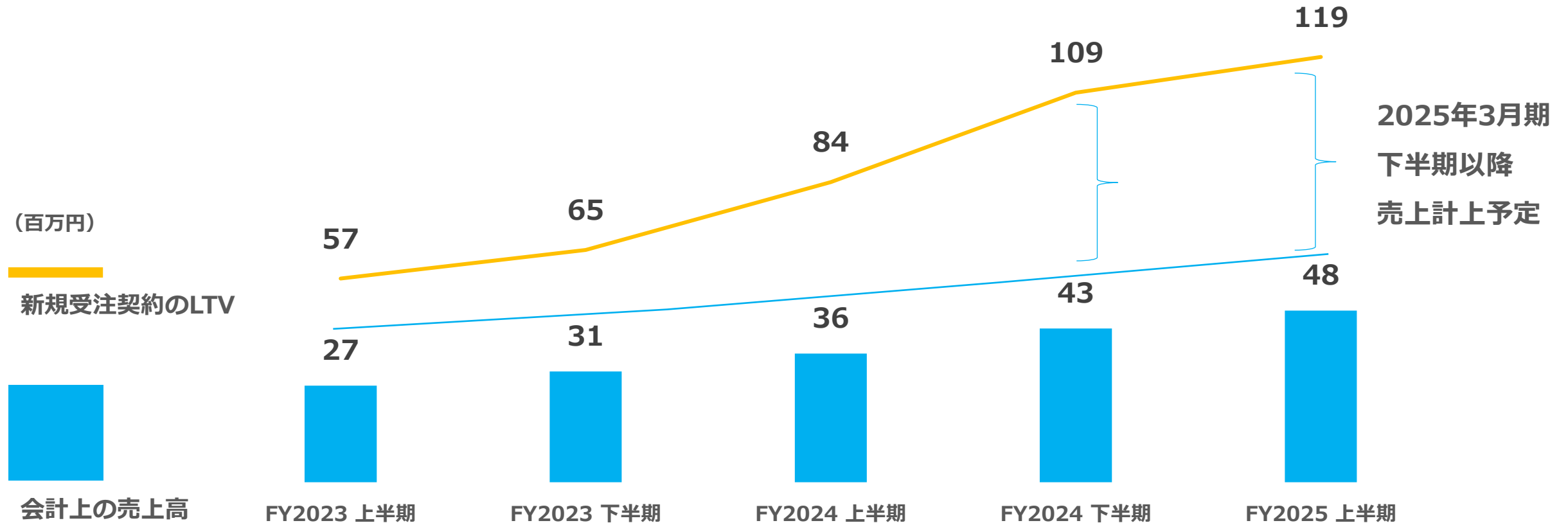
オフィス回帰による小規模企業ユーザーの解約によるアカウント数減があるものの、内部不正対策をテーマとして中堅・大企業での新規導入増加、利用拡大により、ARPUが継続上昇。



働き方改革製品（SaaS型）

インサイドセールス強化およびカスタマーサクセス向上による商談数・アップセル増、解約率低下により新規受注契約のLTV（Life Time Value）が向上傾向。

新規受注の約60%分が下半期以降の計上予定。



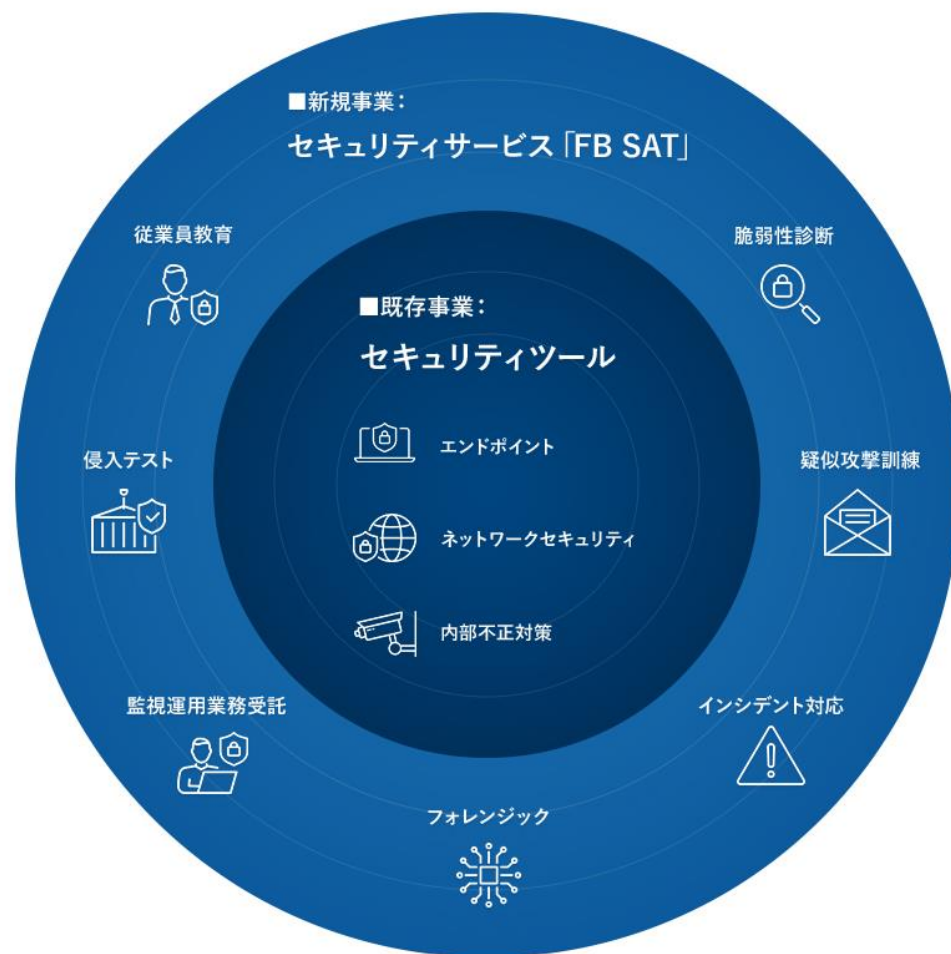
セキュリティ / ITエンジニア集団



Fuva Brain



セキュリティソリューション プラットフォーム



留意事項等

- 本資料は、当社グループの業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社グループの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料、データの無断転載はご遠慮ください。



Fuva Brain